

“屋根のある部屋がほしい！”～ガザに暮らす二人の女性の声に接して思うこと。～ AFZ賛同店、南インド食堂「Hanako」店主 金山慈香（いつか）さんのお話を聞く会に21人が参加しました。



去る3月22日千葉の市川市女性センターでイスラエルのガザへのジェノサイド攻撃の中で暮らす二人の女性の生活やその思いなどを聞く会がZENKO千葉の主催で開催されました。参加者は21人でした。

●ZENKO千葉の山口真理子さんと上野通子さんは、AFZ(アパルトヘイト・フリー・ゾーン)運動に賛同する京成大久保駅にある南インド食堂「hanako」を訪ね、店長の金山慈香さんのお話を聞きました。そして、彼女がSNSで発信しているガザとそこで暮らす人のリアルな生活の様子や彼女のガザとつながる取り組みを通じて感じた思いを多くの人に伝えたいと思い企画しました。更にAFZ運動を広げたいです。

ZENKO H・P



AFZの取り組みに協力希望の方は、お名前、電話番号を書いて下記のQRコードで、ZENKO関東にご連絡ください。



お話の一部から(ガザの今を知って下さい！)

会場では二人との出会い、人間性、乗り越えてきたことを写真と共に月日を遡りながら話されました。

ガザに住むAmaniさんとRetaさんとのメールでのやりとりの詳細が話され、現在の様子が手に取るように理解できました。慈香さんは、この企画の為にAmaniさんとRetaさんに沢山インタビューをしてくれました。

【 以下 話された内容です。 】

●現在の物価

トマト1kg 7~10ドル/玉ねぎ2~7ドル/ピーマンやキュウリなどの野菜は品薄
小麦粉1kg約5ドル/米4~8ドル/卵は現在入手できない、30個入り12ドル~30ドル/バナナ7ドル

●ガザにどれくらい住んでいますか？ガザを離れたことはありますか？

家族は何世代にもわたってガザに住んでいます。ここは私たちの故郷です。ガザを離れたことはありません。国境検問所の閉鎖は長年続きガザへの封鎖によって、海外へ行く夢は実現することができませんでした。

慈香さんからのメッセージから・・・

平和を祈ることは大切です。でもそれだけでは足りないと思います。すでに世界中の多くの人が、このジェノサイドを許すことは人間の(つまり自分の)生きる権利を脅かすこと、地球環境を破壊していくことだと、行動しています。決して少数派ではないことは明白です。真の人間であり続けるために命を大切にすること、そのために想いだけでなく行動に移していくことが私たちにできることです。たとえ小さなことでも。

本当の平和は、平和を語るのではなく、平和のために行動した後に築かれるのだとやはり強く思います。

連絡先 ZENKO (平和と民主主義をめざす全国交歓会)
090-1771-4150 (河辺) 070-6482-5753 (石川)